

28年8月分 プレカットの荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年8月1日～ 28年8月10日

2. 調査実施方法

全国のプレカット工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
8月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) プレカット加工用部材の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/8月	9月	10月
仕入 動向	国産材製材品	21.4	28.6	14.3
	外材製材品	28.6	21.4	0.0
	構造用集成材	25.0	8.3	16.7
消費 動向	国産材製材品	21.4	28.6	14.3
	外材製材品	28.6	21.4	7.1
	構造用集成材	33.3	25.0	8.3
在庫 動向	国産材製材品	△ 28.6	△ 14.3	△ 21.4
	外材製材品	△ 14.3	△ 7.1	△ 7.1
	構造用集成材	0.0	△ 25.0	△ 8.3

・プレカット部材の仕入れは総じて3ヵ月連続して増加。

・プレカット部材の消費は3ヵ月連続して増加。

・プレカット部材の在庫は、総じて3ヵ月連続して減少。

(2) プレカット工場受注動向 Weight. D. I.

品目	28/8月	9月	10月
受注	21.4	35.7	0.0
加工	21.4	42.9	14.3
受注残	7.1	△ 7.1	△ 7.1

・プレカット工場の受注は8月、9月の増加が、10月は横ばい。

・加工は3ヵ月連続して増加。

・受注残は8月の増加が、9月、10月は減少。

モニターからのコメント

(加工用部材荷動き)

- ・お盆休暇に向けて仕入れ、消費、在庫は減少傾向。
- ・仕入は外材製材品から国産材製材品へ少しづつシフトしていくため、国産材製材品は今後増加。外材製材品は仕入れを減らし過ぎたためやや仕入れを増加。集成材メーカーは9月が夏休みに当たる。消費で外材製材品のやや増加は新規物件による一時的なもの、今後は落ち着いてくると思われる。在庫は国産材は減少気味で推移、外材は仕入れを増加させるため安定すると思う。
- ・合板・WW集成柱に入荷遅れあり。盆明け以降も順調な受注。

(受注動向)

- ・旧盆長期休暇に伴い、少なめで推移。
- ・受注はやや増加で推移していくが、工場キャパからみたら受注量をもっとほしいところ。